



ひまわり（柳川市）

目次

- | | | | |
|-----------------------------------|---|---|----|
| ●平成20年度 第2回定期総会
役職員研修会開催..... | 1 | ●平成21年度 安全・適正就業対策実施
計画..... | 6 |
| ●平成21年度 第1回定期総会
役職員研修会開催..... | 2 | ●平成21年度 シニアワークプログラム
技能・介護講習実施計画..... | 7 |
| ●就任のあいさつ..... | 3 | ●シニア就業支援プログラムが始まります
..... | 8 |
| ●退任にあたって 魅力あるセンター創
りに期待する..... | 3 | ●センターだより..... | 9 |
| ●平成20年度 事業報告..... | 4 | ●平成20年度統計データ..... | 10 |
| ●平成21年度 主要事業計画のあらまし
..... | 4 | ●一言コーナー・今月の表紙..... | 11 |
| | | ●編集後記..... | 11 |



平成20年度 第2回定期総会 役職員研修会開催

3月19日(木) 博多都ホテル

平成21年3月19日(木)午後1時30分から福岡市の「博多都ホテル」において、平成20年度第2回定期総会を開催しました。

総会は、後藤達太連合会会長のあいさつに始まり、続いて、来賓の福岡労働局の鈴木徹職業安定部長と福岡県生活労働部の松永大四郎労働局長から祝辞をいただきました。

総会の議長は(社)行橋市シルバー人材センターの竹内博孝理事長が選任され、議事が進められました。当日審議された案件は「平成20年度補正予算(案)」、「定款の一部を改正する定款(案)」、「平成21年度事業計画(案)」、「平成21年度収支予算(案)」の4件でした。いずれも原案の通り可決承認されました。

定期総会終了後、役職員研修会を開催しました。演題は「シルバー事業の発展拡充のために」として、シルバー会員のユニークで多様な就業分野の拡大、地域に根ざした事業活動に取り組みされている(社)福岡市シルバー人材センターの朝倉由美子事務局長を講師に迎え、講演をいただきました。

シルバー事業を円滑に実施するにあたっての組織の役割分担や地域活性効果を期待する企画提案方式による事業(子育て支援事業/生涯学習事業/リユース・リサイクル事業/農産物加工販売事業/資源循環型農業支援事業/自然環境保全・回復推進事業)について、活発な業務推進等が図られており、シルバー事業が地域社会に役立つために創意工夫し、ご尽力されている姿に感銘しました。

平成21年度

第1回定期総会



役員研修会開催

6月19日(金) 博多都ホテル

平成21年6月19日(金)午後1時30分から福岡市の「博多都ホテル」において、平成21年度第1回定期総会を開催しました。

総会は、後藤達太連合会会長のあいさつに始まり、続いて、来賓代表として福岡労働局の鈴木徹職業安定部長と福岡県生活労働部の松永大四郎労働局長から祝辞をいただきました。

総会の議長に(社)春日市シルバー人材センターの山崎和美理事長が選任され、議事が進められました。当日審議された案件は「定款の一部を改正する定款(案)」、「平成20年度事業報告」、「平成20年度決算報告及び監査報告」、「平成21年度事業計画の一部変更(案)」、「平成21年度補正予算(案)」、「役員の選任」の6件でした。いずれも満場一致をもって原案の通り可決承認されました。

なお、役員については任期満了による改選となり、新役員の方は下表のとおりです。

定期総会終了後、役員研修会を開催しました。演題「コミュニケーション強化による人材育成」について、講師に(有)アイビーサポート代表取締役澤田知子氏を迎え、人の集まりである組織の運営をより良くするために管理職に求められる能力や資質、コミュニケーション方法を学びました。

人との信頼関係を築くにはまず相手の立場や状況を理解し聴き上手になること、人を育成するには信頼されるリーダーであり効果的なほめ方と叱り方の話を身につけることなど組織の活性化を図るための講演をいただきました。

新役員名簿

平成21年6月24日現在

役職名	氏名	所	属	備考
会長	生田 征生	(社)福岡市 SC	理事長	新
副会長	新田 鶴雄	(社)中間市 SC	理事長	新
副会長	青柳 四郎	(社)田川地区 SC	理事長	新
副会長	高田 澄男	(社)柳川市 SC	理事長	再
常務理事	猪口 紘芳	(社)福岡県 SC 連合会	事務局長	新
理事	大西 國博	(社)筑紫野市 SC	理事長	新
理事	川崎 雅光	(社)宗像市 SC	理事長	新
理事	西村 博	(社)北九州市 SC	理事長	新
理事	内藤 康治	(社)直方市 SC	理事長	再
理事	井形 陽一	(社)大牟田市 SC	理事長	新
理事	松尾 昇	(社)小郡大刀洗広域 SC	理事長	再
監事	河波 俊雄	(社)大野城市 SC	理事長	新
監事	竹房 和美	(社)筑前町 SC	理事長	新

注)「SC」→シルバー人材センター



就任のあいさつ

社団法人 福岡県シルバー人材センター連合会

会長 生 田 征 生

この度、皆様のご推挙により、社団法人福岡県シルバー人材センター連合会会長の重責を担うことと相成り、就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

前任の後藤会長の財界における優れた業績やシルバー事業の発展に手腕を発揮されたことを思うとき、後任の私が果たしてこの重責を全うしご期待に添うことができるかどうか危惧するところでございますが、この上は全力を尽くしこの大役に当たる所存でございます。

ご承知のとおり我が国の経済は、世界的な金融不安を背景に雇用情勢の悪化に始まり経済不況に突入いたしました。一方少子高齢化は、ますます進展し超高齢化社会を迎え、国民一人ひとりが長生きして良かつたと実感できる豊かで活力ある社会を構築していくことが国民的な課題となっております。

わが国経済社会の新たな発展を目指すには、高齢者が長年にわたって培ってきた知識や経験を就業とおしてできるだけ長く社会を支えていくことが必要で、シルバー人材センターの果たす役割は今後ますます重要になり一層の発展と拡充が期待されるところであります。

しかしながら、国をはじめ市町村における行財政改革の推進は補助金の減額等によるセンターの運営に少なからず影響を及ぼし、シルバー事業を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。

私は、シルバー人材センター事業に直接関係したことはありませんが、これまでの行政経験を生かし、そして、なによりも皆様のご協力、ご指導を賜りながらシルバー事業の発展のため微力ながら尽力してまいりたいと考えています。

皆様のご指導、ご支援を切に願います。就任にあたっての挨拶といたします。

退任にあたって

魅力あるセンター創りに期待する

社団法人 福岡県シルバー人材センター連合会

前会長 後 藤 達 太



この度、連合会会長を退任いたしました。

振り返れば、平成17年6月から4年間の就任期間、長いようで短い4年間だったと感じています。その間皆様方から戴いた暖かいご支援とご激励に感謝し、お別れのご挨拶を申し上げます。

就任当時から西日本シティ銀行顧問の傍らいろいろな役職に携わってまいりましたので、皆様には行き届かない点多々あったのではないかと思います。県下各シルバー人材センターの役員並びに元気な会員の皆様方の就業に対する熱い思いに触れ、私も気持ち若返るのを感じると同時に元氣あふれる高齢者の方々が、大勢いらつしやることを知りました。

このことから県連合会会長在任中は、シルバーフェスティバルの開催や県副知事との対談等とおして、高齢者になっても働き続けることが健康の保持、更にはまだ誰かに必要とされ地域社会に寄与するという意識を持ちながら日々過ごすことが如何に大切か、この意識がシルバー会員の元氣の根源になっていることを強調してきました。

また、経済界との繋がりを持つ者として企業や経済団体等に対しシルバー人材センター事業の普及啓発と周知に微力ながら努め続けてまいりました。

昨今の行財政改革等を背景に世界的な金融不安による雇用情勢の悪化による経済不況も含め、激変の時代を迎えたシルバー事業は大きな転換期を迎えています。21世紀の高齢社会にあつて、健康で働く意欲のある高齢者が生きがいを持つてゆとりある生活ができる環境作りを目指し、新しい時代に即応した魅力あるセンターの創出を期待すると共に、皆様のこれからの活躍・ご健勝を心からご祈念申し上げます。

平成20年度 事業報告



総括

平成20年度、世界的な金融危機の影響から、国内景気は金融機関や大手製造業等が軒並み業績の見直しを余儀なくされ、福岡県においても自動車関連産業等の急速な業績悪化で雇用情勢は更に厳しさを増し、早急に改善される状況にはありません。

この社会情勢のなか、シルバー事業もこの不況を反映してか業務実績は前年度に比べ下降傾向です。国はこの状況に対し、緊急雇用対策事業を始め景気浮揚と雇用状況の転換を図るため様々な施策を展開、特に雇用の確保に力を注ぎ始めました。また、緊急雇用対策事業実施計画の中にはシルバー人材センターが含まれ、今後この事業への取組みが期待されることです。

しかし、国の進めている65歳までの定年延長や継続雇用施策が一段と進展し、会員の増強には少なからぬ影響が見られ、昨年度末と比較すると203名の増と大幅な増加には至りませんでした。高齢者の多様な就業ニーズを包括すべきシルバー事業は現状維持に留まり、目標としている会員数を考えると更なる努力が必要であり、今後は、他県状況等も勘案しながら鋭意取組むこととしています。

安全・適正就業対策の推進につきましては、最重点項目として取り組んできましたが、平成20年度も重篤事故が多発し、大変遺憾な結果となりました。今後、安全への更なる取組みが急務であり、就業の安全確保を最優先に努めることといたします。

また、企画競争になったシニアワークプログラム事業については、事業費用が50%減額されたにも係わらず講習修了人員1,400人という厳しい目標値を示され事業達成に努めました。結果は1,154人(82.4%)となりました。

特定公益増進法人の寄附金は、平成20年度の総額は78万円となり昨年度より50万円の増加となりました。寄附者並びに寄附金の募集等についてご協力いただいた皆様方に厚くお礼申し上げます。

平成20年12月1日から施行された公益法人制度改革については、新制度への移行に向けて研修会等を開催、これからの取組み方など情報を収集し随時提供しているところです。

主要事業計画のあらまし

平成21年度

基本方針

シルバー人材センター(以下「センター」という)は、高齢者の生きがいと健康の維持等を目的に国及び地方公共団体の支援育成の中でその機能の特性を生かし、高齢者が就業を通して社会に参画する新たな社会システムとして地域の信頼に依拠してきましたが、近年、年金の支給開始の段階的引き上げや65歳までの継続雇用の推進等でシルバー人材センター事業(以下「シルバー事業」という)の根幹に係わる制度が揺らぎ、会員の意識や就業環境、年齢等にもその変化が表れています。

また、世界的金融危機が日本経済にも波及、経済不況は労働者雇用に多大な影響を及ぼし財政状況はますます悪化しており、シルバー事業運営費補助金の継続的削減、シニアワークプログラム(S.P.)事業の企画競争への転換と事業実施費用の大幅な減額、シルバー派遣事業の導入、補助事業の段階的な廃止により企画提案方式による事業補助への転換等、センターを取り巻く環境は大きな変遷の渦中にあります。

この変遷の時代、現状を見据え情勢に対応できる体制の整備を図り、国の施策に基づく「2010年全国会員数100万人」の目標達成に向けた事業の総合的な対策の推進や緊急雇用創出事業及び地方公共団体の地域再生計画等と連携した多様な事業への取組み等、地域社会への更なる寄与を目指し、事業を刷新強化し取り組むこととしています。また、高齢者就業の基本である法令並びに安全・適正就業の遵守については、なお一層厳格な対応が求められています。

当連合会とセンター及び(社)全国シルバー人材センター事業協会(以下「全シ協」という)は連携を密にし、基本理念を尊重しつつ、現状を充分に把握・分析し、状況に応じた事業の拡充と発展を目指すこととします。

平成 21 年 度

主要事業計画のあらまし

重点項目

(1) 安全・適正就業推進事業の強化

「安全は全てに優先する」この基本認識のもと、会員の安全就業の推進に努めてきたが、重篤事故が後を絶たず、今年度については「安全とは何か」を改めて問い直し、安全意識の向上と周知について指導、強化を図ることとします。また、会員の就業については、臨時的かつ短期的または軽易な業務という基本姿勢を遵守し、就業の適正化に努めます。

〔新規〕事務局長及び業務担当職員対象安全・適正就業研修会の開催

・安全・適正就業パトロール指導員配置、安全・適正就業対策委員会の開催
安全・適正就業パトロールの実施、改善状況把握・支援、安全就業促進大会の開催、安全・適正就業推進員研修会開催

(2) 2010年全国会員数100万人達成に向けた総合的対策の推進

シルバー事業の発展拡充を目指しあらゆる機会をとらえて、理念・意義、就業の仕組み、活動状況等を広く県民各層に周知を図り、事業への理解と参加を求めます。

〔新規〕シルバーフェスティバルの開催(10月)

・機関誌「シルバー連合ふくおか」の発行、ホームページ活用・広報関係機関（行政・団体・民間企業等）との連携・啓発活動
特定公益増進法人制度の周知・広報・普及啓発

(3) 企画提案方式による事業（子育て分野）への積極的な参画

企画提案方式による子育て分野の事業を実施し、福岡県次世代育成支援行動計画「出会い子育て応援プラン」と相まって、就業会員の拡大サービスの向上、当該事業を広く県民に周知するため、事業を展開していくこととします。

〔新規〕親子・シルバー会員交流セミナーの開催

ナーの開催

〔新規〕子育て支援事業モデルセンターの設置、支援、調査研究

〔新規〕「子育て支援」専用ホームページ開設による普及啓発

・子育て支援コーディネーター配置、担当職員研修会の開催
子育て応援会員養成講座の開催

(4) シルバー派遣事業の取組み

シルバー派遣事業の実施に向け、運営上の諸課題を整備し、適正な運営を図ることとします。

〔新規〕シルバー派遣事業検討委員会の設置・開催

・シルバー派遣事業派遣元責任者講習、受講促進、行政機関・関係団体等との連携、先進センター情報収集・提供、指導・相談

(5) 指導・相談業務の強化

センターの適正な事業運営を促進するため、会計・業務全般にわたる指導・相談業務を実施します。

〔新規〕専門家（公認会計士、弁護士等）による助言、相談

・センター会計・業務の指導相談・改善支援
県内4ブロック研修活動助成、全シ協個別指導支援・協力

(6) 福祉・家事援助サービス事業の推進

高齢者・障がい者・子育て家庭の生活援助など県民生活をサポートする事業を推進するため、各センターと連携を深め、各自治体や関係団体、民間企業等と連携し、地域社会のニーズに努め、事業の強化を図ります。

(7) 調査研究事業

豊富な知識や技能・経験を有する高齢者の社会参加や多様な形態への就業に対応するために会員の活用を推進する。また、公益法人制度改革のための調査研究を行います。

(8) センター未設置地域の解消

福岡労働局及び福岡県と連携し、未設置町村

に高齢者の就業支援対策事業としてセンターの設置と組織化を促進します。

(9) 無料職業紹介事業の実施

無料職業紹介指定センターにおける高齢者の無料職業紹介を通し、高齢者の雇用・就業を支援します。

(10) 情報システム活用事業の推進

IT技術を活用した事務作業の効率化を図り、県内イントラシステムを構築し、運用を推進します。

(11) 講習・研修会等事業の実施

センターが大きな転換期を迎えた中で、役職員・事務局職員が対処すべき課題に対応した研修会を実施します。

(12) 関係行政機関、団体との連携

福岡労働局及び福岡県との連携及び連絡会議等を行います。

(13) 諸会議の開催

定期総会、理事会、全体事務局長会議等を開催します。

(14) シニアワークプログラム事業企画競争への参加及び推進

高齢者の雇用就業機会の確保を促進するため、幅広い業種（職種）について、実施科目の選定を行い、厚生労働省が募集する企画競争に参加し、事業主団体及び職業安定機関との連携を強め実施します。

(15) シニア就業支援プログラム事業企画競争への参加及び推進

雇用・就業やボランティアなど、高齢者の多様な社会参加ニーズに応えるため、厚生労働省が募集する企画競争に参加し、事業主団体、職業安定機関、ボランティア団体やコミュニティビジネス事業者等及び拠点センターとの連携の下、事業の推進を図ります。

(15)の新規事業の内容については8ページに掲載しています。

平成21年度

安全・適正就業対策 実施計画



平成21年度第1回安全・適正就業対策委員会を4月28日(火)に開催し、安全・適正就業対策推進基本計画に基づく平成21年度の安全・適正就業対策実施計画が決まりました。

本年度の重点目標として次の3点を設定いたしました。

- ① 安全保護具の完全着用
- ② 交通安全ルールの遵守
- ③ 健康管理の徹底

まず「安全保護具の完全着用」については昨年度も「安全保護具着用の100%達成」を目標にしましたが、特にヘルメットについては着用が徹底しているセンターとそうでないセンターがあります。重大な事

故はとなくヘルメットが着用されていません。一方、転落事故に遭ってもヘルメットを確実に着用していたために軽傷ですんだケースも報告されています。安全保護具の着用についてはセンターの職員、会員の皆さんはもつと真剣に取り組んでいただきたいと思っています。次の「交通安全ルールの遵守」についても同じ事がいえませんが、ルールや基本をきちんと守ってさえいれば、事故は避けられた、あるいは大きな事故にはならなかったケースが少なからずあります。さらには交通信号に従っていても事故に遭うケースがあります。通行する場合は自分で安全を確認する習慣が必要です。また健康管理の徹底については、自分の体調は自らがしっかりと管理していただきたいものです。健康であることはシルバー会員としての基本です。また体調が思わしくないときは就業をひかえる勇気も必要です。気持ち若いののはけっこうなことですが、身体能力は自分と思うほど若くはありません。事故例の多くは、このくらいは大丈夫だという安易な気持ちから起きています。慎重に慎重を重ねて事故のない立派な仕事をしたいものです。

次に本年度の安全・適正就業対策実施計画は次のとおりです。

① 本年も委員会によるセンターの安全・適正就業パトロールを実施します。昨年度は事故の発生率の高いセンターを特定して実施しました。安全や適正について改善が行われているセンターもあれば、依然として改善が進んでいないセンターもあり、センター間の格差がありました。本年度は過去の事故の内容、安全・適正就業の組織体制についてパトロールが必要なセンターを選定し、重点的に実施い

② たします。

安全就業促進大会を7月24日(金)に実施いたしました。7月は全国シルバーの安全就業強化月間となっています。各センターの月間における取り組み結果を報告していただきます。

③ 本年度は新たに「局長及び業務担当職員安全・適正就業研修会」を強化月間の7月1日(水)に開催しました。安全・適正就業は安全担当者をはじめ職員全員が会員の皆さんと一体となって事故回避意識を常に持ち続けなければ事故は撲滅出来ないという視点からの研修でした。

④ 安全・適正就業推進員研修を開催いたします。先の局長及び業務担当職員の研修を受け、センターの安全・適正就業の推進役としての役割の強化を行います。

⑤ センターの安全・適正就業の確保のため事故情報をはじめ、様々な形で支援をいたします。また拠点間の情報交換にも積極的にかわります。

⑥ 本年度から事故発生比率の少ないセンターの表彰制度を設けました。仕事の量に対する事故件数その他から優れた成果をおさめられたセンターを表彰し、会員の皆さんのより一層の励みになるようにと考えています。

⑦ ご承知のとおり福岡県は全国でも例を見ないほどのシルバー人材センターの重篤事故が続いています。まさか我々のセンターで起こると思ってもみなかった」というのが正直なところだと思いますが、どんなセンターでも事故は起こらないという保証はありません。職員、会員全員が事故を絶対起こさないというしっかりした備えを確保していただきますようくれぐれもお願ひ致します。

平成21年度 シニアワークプログラム技能・介護講習実施計画

【連合会主催】

エリア	開催地	種類	講習名	実施回数	講習日数 (1回当り)	受講予定 (1回当り)	エリア	開催地	種類	講習名	実施回数	講習日数 (1回当り)	受講予定 (1回当り)
福岡	宇美町	長期	樹木・緑地管理講習	2	10	25	北九州	北九州市	長期	樹木・緑地管理講習	1	10	25
	福岡市		警備・受付管理講習	1	8	25		北九州市		警備・受付管理講習	1	8	25
	福岡市		パソコン実務講習	2	8	25		北九州市		パソコン実務講習	2	8	25
	福岡市		ネットワーク管理講習	1	8	25		豊前市		パソコン実務講習	1	8	25
	福岡市		経理補助講習	1	8	25		北九州市		事務補助講習	2	8	25
	福岡市		事務補助講習	2	8	25		北九州市		建築 CAD	1	8	20
	福岡市		建築 CAD	1	8	25		北九州市		マンション管理員講習	1	8	25
	福岡市		マンション管理員講習	1	8	25		北九州市		訪問介護員講習	1	23	25
	福岡市		社会保険入門講習	1	8	25	県南	久留米市	長期	樹木・緑地管理講習	1	10	25
	福岡市		介護事務講習	1	8	25		久留米市		警備・受付管理講習	1	8	20
	福岡市		福祉住環境入門	1	8	25		久留米市		パソコン実務講習	2	8	25
	福岡市		小型移動式クレーン	1	7	20		久留米市		事務補助講習	1	8	25
	福岡市		添乗員養成講習	1	8	25		久留米市	連合短期	緑地管理講習	1	5	20
	福岡市	連合短期	フォークリフト講習	1	5	20							
筑豊	飯塚市	長期	警備・受付管理講習	1	8	20							
	飯塚市		パソコン実務講習	1	8	20							
	飯塚市		訪問介護員講習	1	23	25							

日程等については変更になる場合があります。

【シルバー人材センター主催】

エリア	開催地	種類	講習名	実施回数	講習日数 (1回当り)	受講予定 (1回当り)	エリア	開催地	種類	講習名	実施回数	講習日数 (1回当り)	受講予定 (1回当り)
福岡	前原市	短期	農業支援講習	1	4	40	県南	うきは市	短期	果樹栽培支援講習	1	5	20
	前原市		パソコン事務講習	1	4	20		田川市		子育て支援講習	1	6	20
北九州	北九州市	短期	筆耕講習	1	5	20	筑豊	田川市	短期	樹木剪定講習	1	6	20
	北九州市		子育て支援講習	1	5	20		飯塚市		樹木剪定講習	2	5	20

シニアワークプログラムとは

厚生労働省の委託をうけ、60歳台前半層を中心とする、高齢求職者を対象として事業主団体等の参画・協力のもと新しい技能・知識を習得する技能・介護講習を実施しています。

● 応募資格

- 原則として60歳台前半層で仕事をお探しの方 ○ 雇用・就業中の方は応募できません。
- 過去1年間に当連合会の各講習会を受講された方を除きます。

- 講習期間及び会場は当連合会、公共職業安定所、最寄りのシルバー人材センターにお問い合わせください。また当連合会ホームページにも掲載しております。URL <http://fscr.or.jp> よりシニアワークプログラムへ

シニアワークプログラム修了者数の推移

● 技能講習（長期、連合短期）修了者

受講者別	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
一般	501	420	516	690	393
SC 会員	101	82	101	230	111
合計	602	502	617	920	504

● 介護講習（長期、連合短期）修了者

受講者別	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
一般	165	170	109	93	70
SC 会員	57	37	33	46	28
合計	222	207	142	139	98

シニア就業支援プログラムが始まります

日本の高齢化は世界に類をみない早さで急速に進行しており、福岡県においても、55歳以上人口は約183万6千人と県下総人口の36・3%と、3分の1以上を占めています（平成21年2月1日現在）。また、今後、活力ある高齢社会を維持していくためには、高齢者が年齢にかかわらず働ける社会の実現が求められているところです。

こうした社会的ニーズを背景に、福岡県シルバー人材センター連合会では、福岡県下における雇用・就業や社会参加を希望する高齢者を対象に、県内の関係機関で構成する地域ネットワークを構築し、ワークショップの実施や高齢者の就業ニーズと企業等の人材ニーズをマッチングすることにより地域の高齢者等に対する再就職等を支援する「シニア就業支援プログラム」事業を始めます。

平成21年6月24日（水）、福岡県やハローワーク、関係団体の協力を得て第1回推進会議を開催しました。この会議では、ボランティア団体やNPO団体、地域ビジネス事業者や老人クラブとのネットワーク化の推進についての検討が行われ、それぞれが協力し合い連携していくことで事業を推進していることが確認されました。

ワークショップメニューについては、シルバー人材センターでの就業体験やボランティア活動、NPO団体で実施している多彩な活動に参加していただけるよう準備を進めています。また、雇用・就業支援セミナーの開催や雇用・就業のマッチング、ライフプランの作成をサポートできるよう、簡単なキャリアコンサルティングも実施できる体制も構築中です。

定年退職などで職業生活を離れた方で、再就職や社会参加を希望される55歳以上の方なら、どなたでも参加登録していただけます。シルバー人材センターの会員の方でも、ボランティアやNPO活動に興味をお持ちであれば参加していただくことが可能です。

この事業に興味をお持ちの方は、お近くのシルバー人材センターまたは福岡県シルバー人材センター連合会にお問い合わせください。

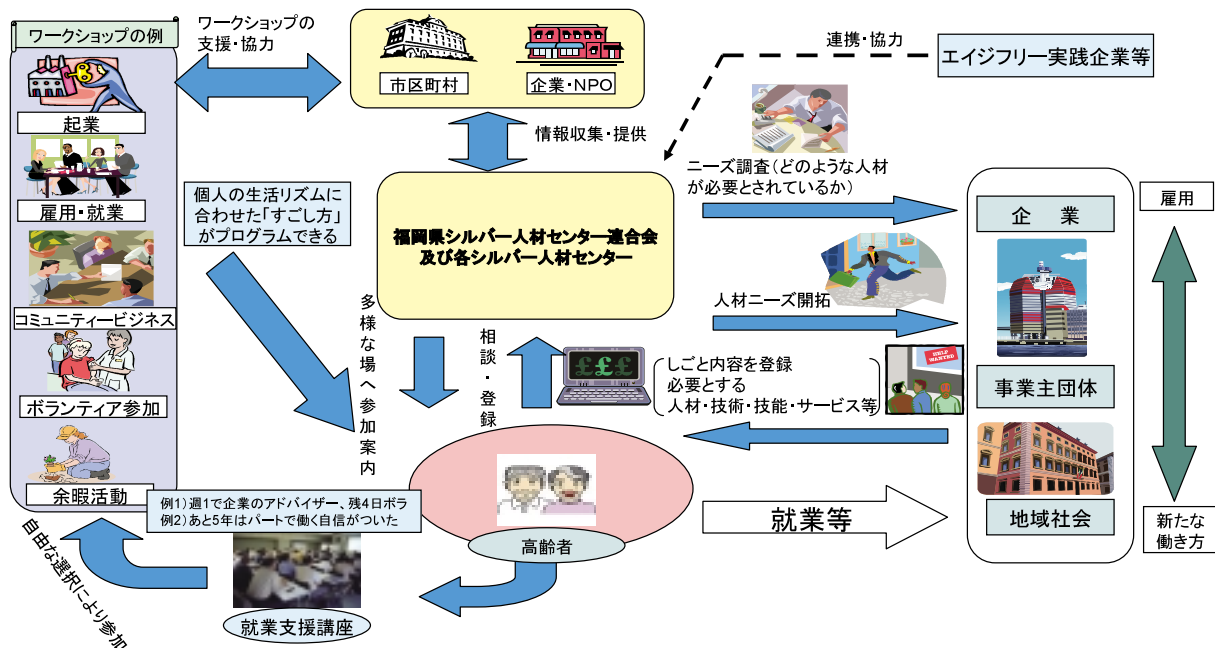
シニア就業支援プログラム事業のスキーム

○事業概要

高齢者の多様な雇用就業や社会参加ニーズに対応して、高齢者の選択を容易にするための地域ネットワークを活用したワークショップを実施する。また、企業等を退職した幅広い職業経験をもつ高齢者の技術、技能、ノウハウを登録していただき、意欲や能力に応じ積極的に雇用就業・社会参加ができる支援を行う。

○具体的内容

①どのような人材が必要とされているかニーズ調査の実施、②企業、事業主団体に対する人材ニーズ開拓、③高齢者の技術、技能、ノウハウや企業等が必要とする人材、技術、技能、サービス等の登録、④高齢者の技術・技能等と企業等の人材ニーズのマッチング事業の実施、⑤高齢者の求職相談、求人情報の提供による就業支援、⑥就業支援講座の実施、⑦多様な働き方に応じたワークショップの実施





(社)みやこ町シルバー人材センター



旧豊津町・犀川町・勝山町の3町合併に伴い、平成18年4月1日3町のシルバー人材センターが統合してみやこ町シルバー人材センターとして発足し、平成19年3月28日社団法人の認可を受けました。

当センターでは、独自事業としてEMチームを立ち上げ活動しています（現在7名、うち女性1名）。

統合前の勝山町シルバー人材センターからEM活性液を製造していた機械を引き継ぎ、環境の浄化をめざす目標をもって普及に取り組み、家庭から出る生ゴミを減らそうとEMボカシⅠ型（生ゴミ処理用）を製造し、また、EMボカシⅡ型（野菜づくり用）も併せて製

造して普及に力を入れています。

食の安全・安心を推進し、身体にやさしい米や野菜づくりをもめざしている町の産業祭、営農感謝祭、メーカーの農機具展示会その他のイベントにも参加してEM活性液、EMボカシⅠ型・Ⅱ型、白ネギ、ホーレン草などの展示即売を行ってきました。

昨年（平成21年）から広報誌EMだより（A4版）を町広報誌と一緒に全戸配布を続け、すでに6号（平成21年7月1日発行）まで発行しました。

EMだよりは生ゴミ減らしと環境の浄化・食の安全・安心をめざすPR活動と位置づけされており、これらのことを会員が理解し、身につけるため会員対象の食の安全・安心EM学習会を実施しました。当日は町役場環境衛生係の方から町のゴミの状況について話をしていたいただき、1人ひとりが気をつければ大きな費用を減らすことができるようになると説明がありました。また、会員から食の問題については今まであまり関心はなかったが、わかりやすい話で勉強になり良かったなどの感想が寄せられ喜ばれました。

EM活性液・ボカシなどの利用は右肩上がりで伸びて就業の確保にわずかながら貢献しているところです。しかしながら、本所・支所での販売などについては会員の就業実態と調整を要する面もあり、今後の課題になっております。

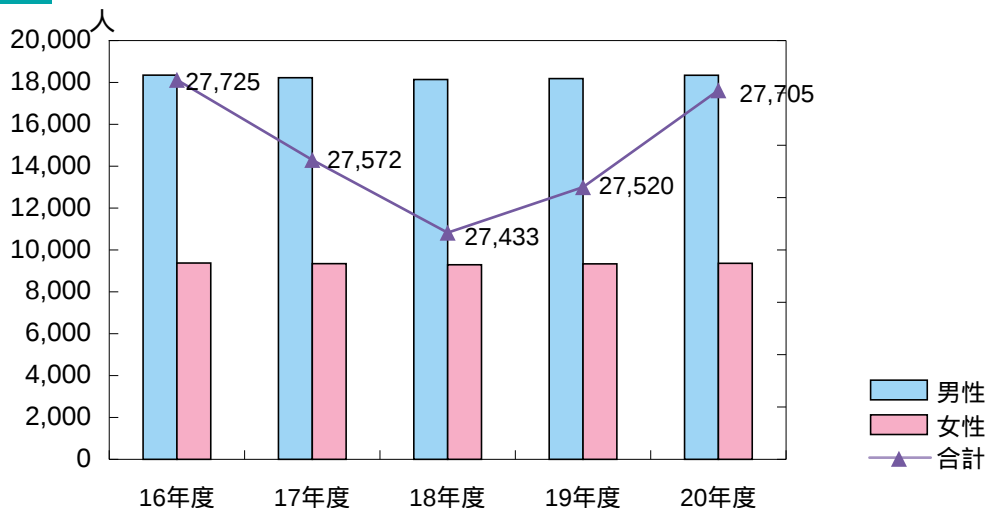
独自事業収入

平成18年度	212,608円
平成19年度	528,970円
平成20年度	780,296円

平成20年度統計データ

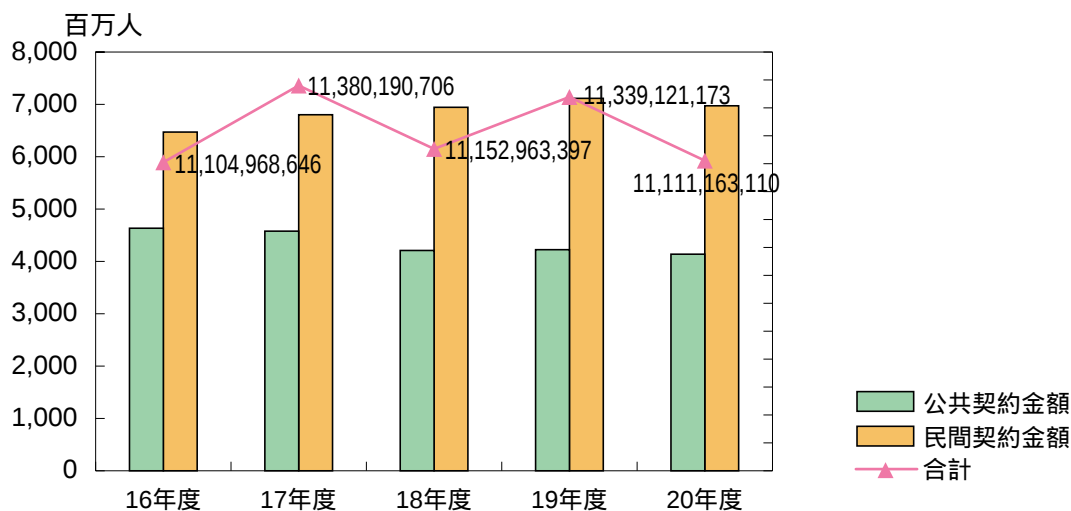
グラフに示すとおり、契約金額は時代を反映してか残念ながら昨年を下回りましたが、会員数については2年連続で増加しており、全国100万人会員達成に向けて、各センターの努力が垣間見える結果となりました。

会員数の推移



会員数(人)	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
男 性	18,349	18,226	18,140	18,184	18,343
女 性	9,376	9,346	9,293	9,336	9,362
合 計	27,725	27,572	27,433	27,520	27,705

契約金額の推移



契約金額(円)	16年	17年	18年	19年	20年
公 共	4,633,993,207	4,578,481,214	4,209,263,302	4,223,965,630	4,138,270,594
民 間	6,470,975,439	6,801,709,492	6,943,700,095	7,115,155,543	6,972,892,516
契約金額合計	11,104,968,646	11,380,190,706	11,152,963,397	11,339,121,173	11,111,163,110

今号の表紙

ひまわり
(柳川市)

撮影者 松浦 修士 氏

元福岡県シルバー人材センター連合会事務局長

氏は以前から写真撮影を趣味にされていましたが、退職されてから活動範囲が広がったようで数多い作品の中から寄稿していただきました。ひまわりが一斉に同方向にポーズをとったシャッターチャンスとひまわりの花ことば「光輝」の感じが表れた好作品になっています。



一言

コーナー

- 最近民間企業で酸欠とみられる労災事故が発生して死者が出ました。新聞によるとこの企業は4年前も同様な事故があり、今回の事故は厚生労働大臣が告示した「作業環境測定基準」を守っていなかった可能性が高いと報じています。多分、再発防止策が徹底していなかったのではないかと考えられます。
- 類似する事故が繰り返し発生する度に想起されるのが、数年前新聞に掲載されたある大学教授の「失敗学」設立についての提唱です(平成15年1月19日毎日新聞)。「失敗学」という聞き慣れないものができた経緯、目的、研究内容、応用、効果などについて論じられ、シルバー人材センター事業にも通じるものがあって心をひかれました。
- 「失敗学」という名前から、堅苦しく寄りつきがたい印象を受けそうですが、新聞から一部引用させていただくと「失敗学では、過去に起こった失敗を学んで知識を作り、それを現在の行動に生かし、さらに将来を予測し、同じ失敗を繰り返さないよう努める。」とあり、失敗に対して真正面から向き合っていなかった反省と失敗学を実践した事例の紹介、そして日本における失敗学の導入が強調されています。
- 上記引用部分はシルバー人材センターの「事故再発防止対策」について応用するのに最適だと思います。また、組織が問題を抱えていながら解決への出口を見いだせないときは、従来からの方法、体制などを見直して180度転換することや筆者がいう「失敗に対して真正面から向き合い」「事故を教訓に改善する」方向へ踏み出すことです。初めての試みによる失敗があってもその経験の積み重ねの中から新しいものが見えて解決への糸口が得られるであろうと示唆しています。
- 安全・適正就業対策のみならず、シルバー人材センター事業の健全な発展のため「失敗学」に関心を示すことが必要ではないかと思われます。ちなみに、提唱は『「失敗学に学ぶ」発想転換を』と題されていました。

編集後記



- 今年の梅雨は降雨量が少なく、県内の一部のダムは貯水率が10%を下りこのため上水道の給水制限が始まった地域があります。(6月23日現在)
- ところが、梅雨前線が北上して活発となり県下全域で大雨続き、がけ崩れ、住宅浸水などの災害発生や公共交通機関の運行に一部支障をきたすなど急変してきました。(7月1日現在)
- この時期の天候は私達の生活に恵みと脅威を与え様々な形で影響を及ぼしています。今更ながら自然界に対して謙虚な姿勢で臨まなければならぬと思います。
- 6月19日開催平成21年度第1回定期総会において後藤達太会長が退任されました。平成17年6月から2期4年間福岡県シルバー人材センター連合会の会長としてシルバー人材センター事業発展のためご尽力いただきました。
- ここに謹んで謝意を申し上げ今後益々のご健勝とご活躍を祈念いたします。
- 機関誌第26号をお届けいたします。一部のセンターに原稿作成のご協力をいただき有難うございました。
- 本年度の機関誌は3回発行する予定です。従来の2回発行では情報提供の時期が半年経過していたなどの反省点もあり極力早期にお届けすることにしました。
- しかし、予算は前年度と同額ですから、その前提で紙面構成を調整しなければなりません。
- そこで、今号、10月(特集号)及び1月に発行することとして掲載内容は工夫をこらすようにしました。
- 今号を含め皆様のご意見、ご感想をお願いします。

福岡県シルバー人材センター連合会

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号

福岡県中小企業振興センタービル8階

TEL092-623-5656 FAX092-623-5677

(URL) <http://www.fscr.or.jp>

この印刷物は、揮発性有機化合物を含まないノンVOC植物性インキを使用しています。